

総合調査報告書

『人口減少と地域の課題』

(調査資料 2024-3) を刊行しました

国立国会図書館ホームページから全文を読むことができます

国立国会図書館調査及び立法考査局は、重要な国政課題について分野横断的な調査・分析を行う「総合調査」を毎年度実施しています。令和6年度は、日本の総人口の減少が地方にもたらしている諸課題について調査を行い、この度、総合調査報告書『人口減少と地域の課題』を刊行しました。

■ 報告書の内容

日本の総人口は、2008年にピークを迎えた後、減少を続けており、2070年には2020年時点の62～77%になると推計されています。国の発展の原動力の一つであった人口の増加が失われ、さらには、東京一極集中による経済社会への影響も各所で見られるようになってきています。本報告書では、地域を持続させるための制度、地域における産業と雇用、地域生活の基盤としてのサービスの3部に分けて、人口減少が地方にもたらす課題を捉え直すとともに、その解決に向けた議論を分析し、整理するための10編の論稿を収録しました。各論稿のタイトルは次ページをご参照ください。



■ 入手方法

国立国会図書館のホームページにPDFファイルで全文を掲載しています。

URL: <https://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/document/2025/index.html>

国立国会図書館トップ> 国会関連情報> 『調査資料』> 2025年刊行分

■ お問い合わせ先

国立国会図書館 総務部総務課広報係 電話：03-3506-5103（直通）

(参考)『人口減少と地域の課題』(調査資料 2024-3) 目次

序論—人口減少と東京一極集中—

第Ⅰ部 地域を持続させるための制度

第1章 人口減少と持続可能な地域・都市政策
—関係人口とコンパクトシティを題材として—

第2章 人口減少地域における投票環境の整備

第3章 人口減少に伴う地方税収への影響

第Ⅱ部 地域における産業と雇用

第4章 人口減少下における地域産業政策の効果

第5章 人口減少下の地域雇用の課題

第6章 新規就農の現状と課題
—人口減少下における農業労働力不足—

第Ⅲ部 地域生活の基盤としてのサービス

第7章 人口減少社会における地域消防体制の課題

第8章 人口減少下で進む公立高等学校再編整備の現状と課題

第9章 人口減少と地域医療を取り巻く課題
—2040年頃を見据えて—

第10章 人口減少社会における地域交通の概況

おわりに

(参考) 調査及び立法考査局の「立法調査サービス」

国会議員からの依頼に基づき、政治、経済、社会、文化、科学技術等、広範な分野の国政課題について、根拠となるデータの収集や事実関係の調査から、論点整理、分析・評価まで、多岐にわたる調査を行います。また、現在・将来の国政課題について調査した成果を報告書などにまとめ、国会議員に提供しているほか、国立国会図書館ホームページで公開しています。